



2022年5月10日

各 位

会社名 株式会社丸和運輸機関
代表者名 代表取締役社長 和佐見 勝
(コード番号：9090 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員総務統括本部長
河田 和美
(TEL 048-991-1000)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2023年3月期（第50期）から2025年3月期（第52期）までの3ヶ年を対象とした中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基本方針

昨今の物流業界を取り巻く環境は、深刻化する少子高齢化に伴う労働人口の減少や稼働車両の不足に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による事業の制限、国際情勢の緊張激化による原材料価格やエネルギーコストの上昇懸念といった不安定な状況下にあります。一方でエッセンシャルビジネスとしての物流需要は、今後ますます増加していくものと予想されます。

このような環境下において当社グループが持続的な成長を実現するためには、当社のコアとなるEC物流、低温食品物流、医薬・医療物流の各種事業における物量の増大への対応、深刻化する人材及び稼働車両不足の状況下における事業拡大に資する人材の確保と育成、DX化の推進と適用による省人化・省力化、生産性向上が必要不可欠であると捉えております。

また、更なる事業拡大のため、限られた経営資源を適正に配分し、成長事業への集中投資と低収益事業の再生・再編による経営の効率化を図ると共に、ESG経営にも積極的に取り組み、経済的価値の最大化と社会的価値の創出の両立を目指してまいります。

2. 中期重点施策

(1) 成長市場の物流需要増大に適合したコア事業の拡大と開拓

① EC物流事業

未だ成長著しいEC市場において、既存・新規顧客に係る高品質・高効率なサプライチェーン（センター運営・幹線輸送・ラストワンマイル）一貫物流プロセスの構築により、顧客ニーズを充足すると共に更なる事業の拡大を図ります。

② 低温食品物流事業

スーパーマーケット向けの物流ノウハウを集約したサービスメニュー「AZ-COM7PL」（アズコム セブン・パフォーマンス・ロジスティクス／7つの経営支援機能を付加した3PL）を発展させた調達ネットワークの構築、多様な輸送モードに対応した産直プラットフォームの構築、HACCP（食品の衛生管理手法）に適合した物流品質の向上により、新たな事業の開拓に努めます。

③医薬・医療物流事業

顧客企業の経営統合に合致した全国の物流ネットワークの最適化と最先端技術を駆使した物流センターの再構築に取り組み、顧客企業の事業規模の拡大と新型コロナウイルス感染症終息後の需要回復に適応します。

(2) 事業規模の拡大に連動した要員確保の多様化と最適配置・人材育成

将来の事業拡大に必要な人材の確保と優秀な人材の育成を充たすために、従来の積極的新卒採用に加え、即戦力となる中途採用等を含む採用チャネルの多角化、事業拡大に必要なスキルと要員数に基づいた戦略的人材育成、人的資源を最大限に活用するためのタレントマネジメントによる適正配置・離職防止に取り組みます。

(3) DXの積極導入による各事業ドメインとバックオフィスの業務生産性革新

前中期経営計画から継続してきた概念実証に基づき、輸配送業務のA I自動配車・求貨求車、ECプラットフォームの構築、バックオフィスのシステム統合による最適化、センター業務のロボティクス導入、S I Pスマート物流（内閣府による戦略的イノベーション創造プログラム）によるサプライチェーンの最適化等、積極的なDXの導入による業務生産性革新に取り組みます。

(4) 成長性と資本効率を両立する事業への経営資源の集中と事業の再生・再編

事業を通じて獲得した経営資源を最適に再投資するため、事業の成長性と投資効率を測定し、コア事業に集中的に経営資源を配分することで、事業成長の加速を図ります。また、ROICツリー展開により各事業の改善ドライバーを特定することで、低収益事業の再生と不採算事業の再編を図ります。

(5) 事業活動を通じた社会との共有価値の創造とコーポレートガバナンス改革

プライム市場上場企業としての責務を果たすべく、物流企業としてGHG（温室効果ガス）排出量削減は勿論、事業活動を通じた環境・社会的価値の向上に努めるとともに、当社が推進する「AZ-COM丸和・支援ネットワーク」によるパートナー企業間の相互扶助に基づく連携や「AZ-COMBCPネットワーク」による発災時における安全・安心・安定した物流の提供、強靱な物流網の構築等に努め、社会の公器たる姿勢を示してまいります。

また、当社の持続的発展を実現するために、次世代を見据えたコーポレートガバナンス改革に取り組んでまいります。

3. 連結業績目標

	第49期	第50期	第51期	第52期	2022年3月期比	
	2022年3月期 実績	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画	増減	増減率
売上高(百万円)	133,000	171,500	200,000	240,000	107,000	80.5%
営業利益(百万円)	8,649	11,130	13,600	17,100	8,451	97.7%
営業利益率(%)	6.5	6.5	6.8	7.1	0.6	—
経常利益(百万円)	9,139	11,522	14,000	17,500	8,361	91.5%
経常利益率(%)	6.9	6.7	7.0	7.3	0.4	—

※当該中期経営計画の詳細につきましては、2022年5月24日に開催予定の機関投資家及びアナリスト向け説明会にて配布いたします説明資料をご参照ください。なお、配布資料は説明会開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

以上